

“気持ち”が地域医療の“充実”になる

「市立伊勢総合病院医師・看護師奨学基金」のご寄附のお願い

市立伊勢総合病院

皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当院の運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、当院は昭和20年7月に既設の病院を買収し、宇治山田健康保険組合直営『健民館』と称して開設しました。

その後、「宇治山田市民病院」、「伊勢市民病院」と改称し、昭和32年に新築移転、昭和35年に総合病院として認可され、翌36年に「市立伊勢総合病院」と改称し、昭和54年4月に現在の場所に新病院として開設しました。

当院は、「愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療」、「良質かつ高度の医療」、「円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療」を基本理念としており、この理念に則り、半世紀以上にわたり地域社会に密着した伊勢志摩地域の市民病院として住民の皆様にも愛されてまいりました。

しかしながら、昨今の地域医療を取り巻く状況は大変厳しい局面を迎えております。そのひとつとして慢性的に医師・看護師が必要数に達していない状況が日本中で叫ばれており、当院におきましても一層の医師・看護師の招聘が必要な状況にあります。地域住民の皆様にも安心していただける医療を提供していくためには、安定的な医師・看護師の招聘が不可欠であります。

また、伊勢市は今後の伊勢志摩地域の地域医療を見据え、当院を新たに建て替えることを決定いたしました。新病院では、地域の医療機関と連携しながら、地域住民の皆様やたくさんの観光客の皆様に対応ができる幅広い医療体制を確立し、真心のある医療を提供していくことを目指しています。

そのため、優秀な医師・看護師の招聘や育成が絶対条件となってまいります。そのための方策の一つとして、医師・看護師に対する奨学金制度を設立いたしました。この制度は、将来、当院に勤務したいと希望する医学生、看護学生に奨学金を貸与する制度で、若い医師や看護師を安定的に招聘することが可能となります。

そして、この奨学金制度を支えるのが、このたび創設いたしました「市立伊勢総合病院医師・看護師奨学基金」です。

この基金につきまして、趣旨にご賛同いただく皆様から広くご寄附を仰ぐことといたしております。

伊勢志摩地域医療の一層の充実のために、皆様からの温かいご支援が是非とも必要でございます。

厳しい経済情勢下ではございますが、皆様と共に地域医療を支えていくために、ご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

なお、ご寄附につきましては、一口5千円で一口以上をお願いしております。また、制度の詳細につきましては、別添資料をご覧くださいと存じます。

担当：経営企画課

三重県伊勢市楠部町 3038

TEL:0596-63-9053

e-mail:hos-kikaku@city.ise.mie.jp